

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/01/30号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

80ドル水準でボックス相場に移行

NY原油先物相場は、1バレル=79~83ドル水準で揉み合う展開になった。中国の需要環境が改善に向かうとの期待感が維持される中、下値は堅かった。春節の連休入りしたが、ゼロコロナ政策の終了によって今後は経済活動が活発化することが、石油需要を押し上げるとの期待感が強かった。ただ世界経済の減速による需要不安も根強く、明確なトレンドを形成することはできなかった。チャートでも過去2カ月強は80ドル台前半が高値限界になっていることもあり、短期筋の買い玉整理の動きが上値を抑えた。

一般的に新規売買材料が乏しく、需要環境の評価が割れた。中国経済の正常化で需要が上振れするとの期待感がある一方、世界経済の減速で石油需要は抑制されるとの警戒感があった。これまでは中国の需要拡大期待で安値修正を進めていたが、春節の連休入りしたことで持高調整のニーズも強く、一般的に様子見ムードの強さが目立った。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (1月20日時点) は、原油が前週比53万バレル増、ガソリンが176万バレル増、石油精製品が51万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

中国需要拡大とロシア産供給不安、押し目買い優勢の地合か

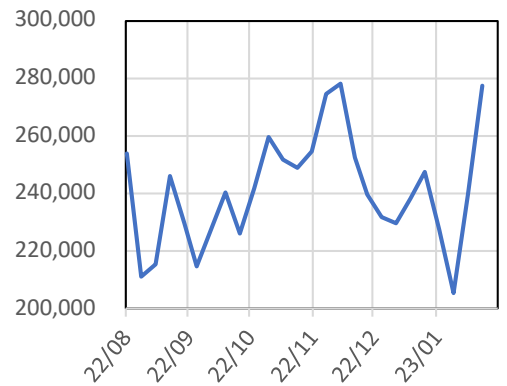
中国の需要拡大に対する信頼感が強く、押し目買い優勢の展開が維持されよう。世界経済の先行き不透明感は強く、主要国で低調な経済指標が発表される、株価が急落するといった動きがみられると、瞬間的に下押しされるリスクは残されている。ただ、中国やインドなど新興国の需要は堅調に推移する見通しであり、需給バランスが徐々に引き締まるとの観測が下値を支えよう。

2月1日には石油輸出国機構（OPEC）プラスの共同監視閣僚委員会（JMMC）が開催される。政策調整の必要性を議論する見通しだが、現時点では現行の生産体制を維持することが決まる見通し。中国の需要回復期待、ロシア産の供給不安といった供給過剰リスクを軽減する動きもみられるが、先行き不透明感から現時点では生産量を抑制した状態で需給バランスが安定するのを見極めるスタンスが採用される見通し。

一方、2月5日には主要7カ国（G7）などがロシア産石油製品に上限価格を設定する見通し。昨年12月5日にロシア産原油に上限価格が設定されているが、対象を石油製品にまで広げることになる。まだ具体的にどのような対応を行うのかは決定されていないが、昨年1月以降はロシア産原油の供給に混乱がみられるだけに、石油製品の供給リスクも意識されると買いが膨らみ易くなる。特にロシア産に対する各国の依存度が高いディーゼル油に関しては、不測の混乱が生じるリスクも警戒したい。

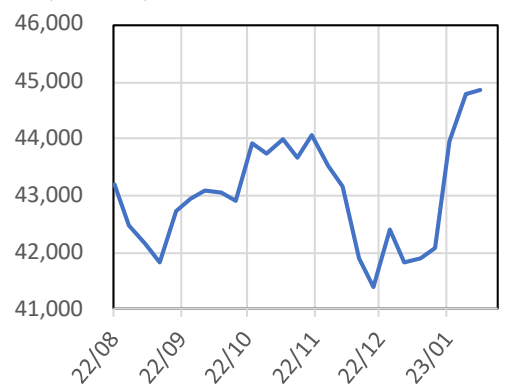
1月31日～2月1日に米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。0.25%の追加利上げが見込まれているが、利上げサイクルの休止・終了を意識させる動きがみられると、ドル安がドル建て原油相場を支援する可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



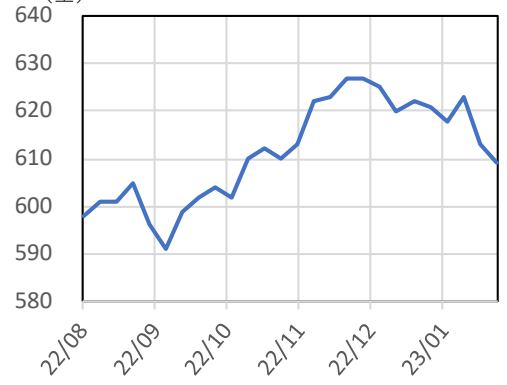
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

